

神戸薬科大学研究論集



vol.21

目 次

[研究ノート]

児 玉 典 子

協調学習における学習活動と自己効力感の関連…………… 1

児 玉 典 子、竹 仲 由 希 子、西 村 克 己、山 崎 渚、
宮 田 興 子

薬学部1年生の学業成績に及ぼす影響要因について …… 9

編 集 後 記 …………… 18

2 0 2 1

編 集 後 記

★今年度は、キャンパス整備に伴う2号館解体の大きな音をBGMに、この編集記を書いております。とは言え、多少の不便さはありますが「安全・安心とよりよい教育環境」を目指した新しいキャンパスに大いに期待を寄せているところです。さて、Libra21号も無事に刊行できることになりました。ご協力頂きました皆様に深く感謝申し上げます。引き続き、多くの皆様の投稿をお待ちしております。

(児玉)

★私はLibraが初めて電子化されたLibra第15号の編集員長を務めました。7年が経ち、Libraは電子ジャーナルとしてすっかり定着しています。第15号に投稿した私の研究ノートを見たアメリカの英語教育関係者から3、4年前に連絡をもらったことがあり、Libraが世界中から見られていることを実感しました。昨年来のCOVID-19パンデミックにより、研究発表の場、大学教育、そして社会全体が大きくオンライン化にシフトしました。この流れの中で国内外への情報発信の場としてLibraの充実を目指したいと思っております。今回ご協力いただいた皆様に深謝すると共に、今後ともご協力を宜しくお願いいたします。

(玉巻)

★新型コロナウイルス感染症への対応を心がけながらのキャンパスライフにすっかり慣れてきた一年でした。今年度もLibra21号を無事に刊行できましたことをたいへんうれしく思います。ご協力くださったみなさまに心より感謝申し上げます。Libraは、論文、研究ノートだけでなく、翻訳や書評なども掲載できます。みなさまの積極的なご投稿をお待ちしております。

(小門)

★☆☆編集方針

1. 本誌の性格 人文、社会諸科学、語学、数学の幅広い分野において、斬新な問題を提起している論文、オリジナリティーがありかつ学問的実証にも耐えられる論文を掲載し、学問の総合的發展に寄与することを目標とする。旧来の紀要の枠を越えた年報を目指す。
2. 応募資格 応募資格は本学の専任・非常勤教員に限定する。
3. 内 容 人文科学、社会科学、語学、数学、社会薬学の分野を対象とする。本学非常勤の教員は、審査の都合上、英語学・英文学、英語教育、ドイツ文学、哲学、倫理学、社会薬学、薬学教育の分野に限定する。
4. 分類項目 提出された原稿は「論文」、「翻訳」、「研究ノート」、その他（たとえば「書評」、「学会報告」など）に分類する。
5. 論文の審査 提出された論文はレフェリー（学外者も含む）の査読報告を参考にし、編集委員会の責任において審査して掲載の可否を決定する。部分的な修正の上、掲載を認めることもある。
6. 原稿提出 論文投稿は随時、その他「研究ノート」等は毎年9月末日締切

★☆☆執筆要領（概要）

1. 使用言語 日英独語に限る。
2. 論文の枚数
 - 〔和文〕・400字詰原稿用紙100枚以内
 - ・ワープロ用紙なら44枚以内（1ページの字数は、横書きで35字×26行、縦書きで50字×18行）
 - 〔欧文〕・7000語以内論文以外の場合は目安を設けない。

※投稿希望者には、別紙の詳しい執筆要領をお渡しします。編集委員会までご連絡下さい。

(Eメールアドレス：libra@kobepharma-u.ac.jp)

執筆者紹介

児 玉 典 子 (代表執筆者・本学准教授・総合教育研究センター支援部門・薬学教育)

第21号編集委員 (◎は編集委員長)

◎小 門 穂 (本学准教授・生命倫理学)

児 玉 典 子 (本学准教授・総合教育研究センター支援部門・薬学教育)

玉 卷 欣 子 (本学教授・応用言語学・医学英語教育)

2021年12月30日 発行

神戸薬科大学
研究論集 **Libra** 第21号

発行人 神戸薬科大学 教養・社会薬学系共同研究室
神戸市東灘区本山北町4丁目19-1 〒658-8558
TEL 代表(078)453-0031
TEL 直通(078)441-7581
FAX (078)441-7582

印刷所 交友印刷株式会社
神戸市中央区港島南町5丁目4-5 〒650-0047
TEL (078)303-0088
FAX (078)303-1320

The Journal of
KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY
in Humanities and Mathematics
vol. 21 (2021)

CONTENTS

◀ Notes ▶

Noriko Kodama

The relationship between learning activity and self-efficacy in
collaborative learning 1

Noriko Kodama, Yukiko Takenaka, Katsumi Nishimura, Nagisa Yamazaki,
Okiko Miyata

Factors affecting the academic performance of first-year
pharmacy students 9

From the Editors 18